

令和 7 年度第 1 回千葉県県土整備公共事業評価審議会 議事録

1 会議の日時 令和 7 年 10 月 14 日（月）午前 9 時 30 分から午前 10 時 10 分

2 場 所 千葉県庁本庁舎 5 階特別会議室

3 出席者

（1）委 員

（対 面）轟朝幸

（オンライン）渡部大輔、阿部伸太、高橋岩仁、二村真理子、田中憲一

（名簿順、敬称略）

（2）関係課

道路計画課、県土整備政策課（事務局）

4 審議会に付した議題

（1）評価実施要領に基づく評価を実施する事業について

（2）その他

5 議事の概要

- ・審議状況の公開について確認（千葉県県土整備公共事業評価審議会運営規程第 7 の規定により、今回の 1 件について公開で審議することを確認）
- ・傍聴者の入室（傍聴者 1 名、報道関係者 3 名）

■議事（1）評価実施要領に基づく評価を実施する事業について

①（道路事業）

（主）成田松尾線 成田空港周辺 IC（仮称）

（事業担当（道路計画課）より事業内容を説明）

○会 長：ありがとうございました。

それでは、本事業について、御審議願います。

委員の皆様から、御質問、御意見はございますでしょうか。

○委 員：この事業自体、非常に大切なものなので、できるだけ速やかに、迅速に滞りなく進めていただければと思います。

費用便益費や環境への影響も特段、問題ないとのことですが、県の過去の事例を見ますと、後々、地盤条件が悪かったなどの意見が見受けられるため、そのようなこと

がないよう事前に確認し、進めていただければと思います。

また、造園ランドスケープの立場からお話させていただきますと、必要性や経済的・社会的効果のところでお話されている部分もありますが、ぜひ、自然環境・景観といった部分への配慮もお願いしたいと思っております。

事業には様々な主体があり、また、この事業費のなかにどこまで植栽や景観形成について含まれているかわかりませんが、少なくとも大きく2つの視点から意見を述べさせていただきます。

1つは日本の玄関口であるということ、もう1つは首都圏から来られる方々の観光レクリエーションの通過動線でもあることから、インターチェンジの利用者だけではなく、そこを通過する方々にとって、魅力的なシーケンス、デザインとなるよう、進めていただければ非常に良いのではないかと思います。

シンガポールも空港に降りてからの街への動線は、非常に美しく整備されており、シンガポールに来たんだなと体感できるような作りになっていますので、今回の事業に直接関係するところではないかもしれませんが、交通・物流といった機能にプラスアルファという形で、いろいろと制約はあるかもしれませんが、そういったところまでうまく巻き込んで進めていただければと思います。以上です。

●事業担当：御意見ありがとうございます。

事業費につきましては、現時点で考えられる精度で算出しております。今後、極力変更が生じないよう、しっかりとやっていきたいと思っております。

また、御意見いただきました利用に関する点でございますが、基本的には成田空港「エアポートシティ」構想との整合を図りながら、単に物流ということだけではなく、周辺のまちづくりと一体となって、しっかりとやっていきたいと考えております。

○会 長：ぜひ、いただいた景観を守るといった意見にも配慮していただければと思います。

私の方からも事業費について確認させていただきますが、インターチェンジは地上にできるのでしょうか、それとも地下にできるのでしょうか。

●事業担当：周辺道路との接続イメージを資料3ページの平面図に示しております。

まず、緑色の点線部分はこれから整備される道路となっており、この道路は新設されるC滑走路の地下を通る横断ボックス構造となっており、この横断ボックスから分岐して、赤い丸で示すとおり圏央道の方にインターチェンジが向かっていき、

ランプとしては圏央道の上を橋梁で超えていく設計となっております。

○会 長：わかりました。ランプは橋梁で、取付道路の部分は地下に入っていくというイメージで理解しました。

関連して、もう1点質問します。資料3ページに全体事業費104億円と記載がありますが、費用便益算定結果を説明している資料11ページの総費用は99億円と記載されております。これは、千葉県が負担する金額のみで費用便益計算を行っているということでしょうか。

●事業担当：総費用99億円の内訳としまして、事業費の78億円と維持管理にかかる費用21億円の合計となっております。

資料11ページに記載している事業費78億円は、千葉県負担分だけではなく、高速道路会社負担分も含まれた費用となっており、資料3ページに記載されている全体事業費104億円から消費税相当額を控除し、基準年（令和7年度）における現在価値化した金額を78億円と算出しています。

なお、千葉県が負担する72億円については、国庫補助をいただきたいと考えております。

○会 長：わかりました。残りの費用についてはNAAが負担するということでしょうか。

●事業担当：全体事業費104億円のうち、千葉県が負担する72億円を差し引いた32億円については、本線の拡幅部分や料金所にかかる費用であり、高速道路会社が負担する費用となります。

○会 長：わかりました。ありがとうございます。

その他いかがでしょうか。

○委 員：御説明ありがとうございました。

当該事業は、成田空港の拡張に向け、非常に大きな事業だと思っております。

基礎データとして、平成27年度の道路交通センサスを使用しておりますが、10年前のデータということで、もう少し近い年度のデータは使えないのでしょうか。

●事業担当：交通量については、毎年調査はされていますが、将来ODを示したデータは、平成27年度センサスベースのODが最新となっております。データが更新されましたら、最新の道路交通センサスに変更していくこととなります。

○委 員：わかりました。ありがとうございました。

○会 長：私もこの事業は大変重要だと思っており、成田空港自体が第2の開港と言う

ほど、大きな話ですので、貨物の話もありましたが、旅客、或いは従業員等のアクセスなど、様々な思惑に非常に有用かと思います。

それでは意見をまとめたいと思います。

道路事業 主要地方道成田松尾線 仮称 成田空港周辺インターチェンジについて、対応方針案のとおり、事業の着手について、了承としてよろしいでしょうか。

(異議なし)

御異議ございませんので、本審議会の意見は対応方針案のとおり、事業着手は妥当ということで決定いたします。

●事業担当：ありがとうございます。

○会 長：以上で、議事（１）を終了いたします。

■議事（２）その他

○会 長：次に、議事（２）その他について、事務局から何かございますか。

●事務局：事務局でございます。今年度第２回の審議会については、１１月１０日月曜日、午前９時３０分から開催を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

○会 長：委員の皆様からは、何かございますか。

議事進行に御協力いただきありがとうございました。慎重に御審議いただきました。

以上で、本日の議事は全て終了しましたので、進行を事務局にお返しいたします。